

完成道路の開通... 種々の御意見を聞くは... 決は財力... 民たけの負担... 工場の必要も起る... 本凡を爲政の一端は... 益を挙げつゝあるは... 町営火葬場を敷設... 居場所を以ては先づ... 担の軽減... 金での幾十萬の施設... 好まぬし亦之を起債... 據るものも不賛成... 表をるものである... 町財政を豊かにする... 町民諸士の叫ばれしは... 町営に基盤を置たと思ふ... 町事たる一朝一夕の考では... 多年心底に感... せるの現はれはなかつた... 町営に二途の前途がある... 四倉及須賀川のそれ今後此... 問題が具體化する場合は

有りとすれば其時に臨んで... として然し是迄に其機... 會が有つたと思ふが逸した... 者は兎に角として遂に... 足下が稱へらるる競争心の... 致す所の様に思ふ多頭政治... 一面の弊として其悉くを... 頭数で決する事で生ずる現... 象だが仰らるる通り自治に... は必ず多数が必ず自治制に... 適すのみは断せられぬ幸... 福に現に賢明なる同僚諸... 氏は普通の會議外の土木學... 務其他の委員に於ては論... 議を闘はしても大勢の赴く... 所に於て決する譯で必... ず闘争心は激しくない平町... 金での幾十萬の施設は... をして向上せしむるの上... 於ては大に論議すべく時に... は腕力も最後迄の反對も歡... 迎す可き事では決果に堪つて... 町財政を豊かにするも... 町民諸士の叫ばれしは電氣... 町営に基盤を置たと思ふ之... 町事たる一朝一夕の考では... 多年心底に感... せるの現はれはなかつた... 町営に二途の前途がある... 四倉及須賀川のそれ今後此... 問題が具體化する場合は

至誠以て凡に善處し忠誠の大弾力とし... 諸君の識見を本紙上に執筆されたる議員... に三萬町民の眼前に展開し得たるは本... 社の幸榮とする處にして又町民の感謝... する處である第二回は來月中旬に發表... べく夫れ鶴首して待たれんことを... (掲載の順序は著者欄に於ての順序に依る)

大平町建設
町會議員紙上公開演説

至誠以て凡に善處し忠誠の大弾力とし... 諸君の識見を本紙上に執筆されたる議員... に三萬町民の眼前に展開し得たるは本... 社の幸榮とする處にして又町民の感謝... する處である第二回は來月中旬に發表... べく夫れ鶴首して待たれんことを... (掲載の順序は著者欄に於ての順序に依る)

公開壇
理髮料金を値下げせよ
理髮業者が衛生の事に... 心掛けて妙な病氣の傳染... する等の事が無いやふに... するのは左もあるべきこ... とである。

平町議一部の御方へ御願ひ
先般御願申上置候大平の... 町建設への玉稿今御發... 送下さる御方は此際至... 急御送願上候 敬具
磐城之實業社

事業と人物欄
信望益々加り來れる
吉村安次郎氏

問題奮闘の人
瀧澤俊平氏

問題奮闘の人
瀧澤俊平氏

此意味に於て巨額組合... 規約した現在の料金は... 不況の打倒下げするの... が當然で遠般平町で開... した縣下同業大會では... の一番に値下を決議す... きが當然であつたのだ... 米や洗濯と同様に貧者... の必需作業である、かう... して其の性質上料金は最... 底限度に引下ぐべきもの... である。

最も正直に勤勉に働いて... ぶことは商賣繁昌立身成功... 町建設への玉稿今御發... 送下さる御方は此際至... 急御送願上候 敬具
磐城之實業社

平町一丁目
和久井屋
電話四〇五番

平町三丁目
大黒屋勝治商店
電話一六六番

平町一丁目
水野薬局
電話一六六番

扇風機の時期が來ました
今年是非
修理、手入 安く町事に
致します

牛豚肉
卸小賣配達迅速
三二二 三屋
平町田町 電話三三三番

内科小兒科
渡邊醫院
平町ネツミ坂 電話一六一番

和洋銅鐵金物問屋
久釜屋商店
平町五丁目 電話九番一三九番

高級新型の自動車
貸切は勉強、路線は好問
三井自動車部
電話八番 一五六番

藤浪電機工業所
電話八五九番

三菱電氣扇を使用下さい
修理、手入 安く町事に
致します

高級食堂
サロン
電話三五二

和洋銅鐵金物問屋
久釜屋商店
平町五丁目 電話九番一三九番

高級新型の自動車
貸切は勉強、路線は好問
三井自動車部
電話八番 一五六番

